



むすび便り 2022年12月号



～どうぞよいお年をお迎えください～

本格的な寒さ到来の前に、畑では冬支度真っ只中です。寒さに弱いものから順に大根や里芋や人参を土中に埋めたり(深いほど温度が一定)、保温のための不織布を葉物や大根にかけたり、白菜の一部を倉庫にいれたりしています。畑の野菜も外が凍っても芯が凍らなければ生き続けます。朝は霜で真っ白のキャベツも、太陽がでてくるとイキイキしてくるのを見ると毎年驚きます。畑作業の合間に見上げるアルプスが澄み渡っていて、ときぱきと動く中でもふと心が静かになったり。他の季節にはない景色が冬にはあります。

今年もあとわずか。12月の全体の最終出荷日は12月23日(金)となります。1月は10火、13金、17火、20金の2週間の出荷なり、その後は厳冬期のため、出荷は5月下旬までお休みとなります。今年も本当にありがとうございました。みなさま、どうぞよいお年をお迎えください！(瑞恵)

農家の12月

寒さが厳しくなってくる師走は野菜の保温や貯蔵と、支柱など畑の片づけ、そして来年への準備です。白菜を新聞でくるんで倉庫に立てたり、来年の種芋の里芋を2m深い穴に貯蔵したり。来年の踏み込み温床のための落ち葉を集めてたり、籾殻を炭にして燻炭をつくったりも。畑では寒さに強い葉物や根菜だけが残りま



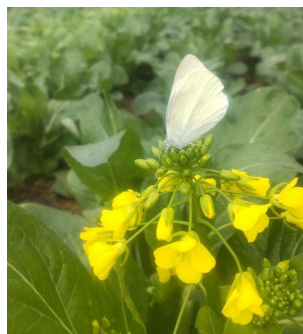
↓大根貯蔵中。巨大な遺跡のような穴は畑班のみんなの手掘りです！



↑畑から見るアルプス。冬はキリッと冴えわたります！

←にんじん間引き中☆産後復帰でおんぶしながらのスタッフがパチリ。

→12/1の寒い朝、菜花にとまっていた、多分、今年最後のモンシロチョウ



むすびの森 オツネトンボ⑭

畑作業も終盤となり、めっきり虫を見かけなくなりましたが、冬でも虫はいます！糸トンボを家の中で発見したことありませんか？おそらく洗濯物にまぎれて侵入してきたのですが、このトンボは漢字で書くと越冬トンボという名で、成虫で冬を越します。普通のトンボは幼虫のヤゴの時に水中で冬眠しますが、このトンボは成虫になって幹や建物の隙間で春になるのを待ち、その後産卵して終わりになるのです。細くて弱々しいトンボですが、実はとても強くたくましいトンボなのです！名前もオツネンなんてとっても乙ですね^_^ (中島)

